

専門部会での検討状況

令和3年5月19日令和3年度福島県水田農業産地づくり対策等推進会議「第1回品種構成・品質向上対策検討専門部会」「第1回飼料用米・加工用米・輸出用米等拡大対策検討専門部会」を開催した。概要、以下のとおり。

1. 日 時 :

令和3年5月19日（水）

13：00～ 第1回品種構成・品質向上対策検討専門部会

15：00～ 第1回飼料用米・加工用米・輸出用米等拡大対策検討専門部会

2. 場 所 :

J A福島ビル9階91会議室

3. 概 要 :

(1) 第1回品種構成・品質向上対策検討専門部会

ア. 福島県における今後の品種構成・品質の現状・課題と今後の対策検討の方向について

○出された主な意見

- ・里山のつぶの位置づけ不明確、品種としての能力高い。
- ・コシヒカリは今後も基幹品種、天のつぶの生産をいかに拡大していくかがポイント。
- ・福島のひとめぼれは東北ひとめぼれの一部として埋没、価格も安い。
- ・議論の順番としては。需要面からどの品種を柱とするのかをまず決める、例えばコシヒカリ、天のつぶということであれば、それを柱として制度別・用途別作付動向、生産構造の変化、気象変動等に対応するため、主要品種を補完する品種、技術対策等をどうするかを検討していく、ということ。

○整理すべき主な論点

現状の品種構成・技術体系は、

- ・気象変動、災害に対応できるのか。
- ・制度別・用途別作付動向に対応できるか。
- ・今後の需要動向に対応できるのか。
- ・将来の生産構造の変化に対応できるのか。
- ・コスト低減・収量確保に対応できるか。

- ・飼料用米等の生産拡大・増加に対応できるか。

イ. 令和3年産米における穀物検定協会の食味試験対応について

○出された主な意見

- ・コシヒカリの県として基軸となる品種、3区分は必要。
- ・県全体の品種構成上、上位品種を出展するのが筋。
- ・将来の展開を含め、各構成団体で良く考えてすすめるべき。

○確認事項

- ・当面、令和3年産米の食味試験対応品種をどうするか、専門部会構成員から意見を聴取し、専門部会としての方向性を決めることとした。

(2) 第1回飼料用米・加工用米・輸出用米等拡大対策検討専門部会

ア. 令和3年産米における現状と今後の取り組み方向について

○出された主な意見

- ・「水田リノベーション事業」の影響もあり、加工用米の販売価格は大幅に下落している。
- ・MA米代替と言っても、すぐに大量の需要を確保できるわけではない。
- ・令和4年度において「水田リノベーション事業」のような事業の継続がなければ、需要はMA米や特定米穀に戻る。
- ・輸出米について、令和2年産米までは何とか結びつけはできた、輸出国としては東南アジア中心、スシロー・ドンキホーテ等で販売。
- ・外国で業務用需要に対応するには、価格のレベル感が大きく違う、なかなか太刀打ちできない。
- ・日本の米と言えばコシヒカリ、天のつぶはブレンドとしての販売が多い。
- ・福島米の輸出については、輸出先、用途、価格等についての情報を貰いたい、それを率直に生産者に返さないと輸出の取り組みは長続きしない。
- ・加工用米・輸出用米とともに、今年の8月頃までには価格帯・数量の情報があれば、令和4年産での検討につなげ易い。

○整理すべき論点

- ・需要減少のなかで、中期的な制度別・用途別作付けの絵姿をどう考えるか。
- ・制度別・用途別に同じ手取りとなる仕組みが理想ではないか。
- ・需要量・価格水準を事前に明示した取り組みが必要ではないか。

- ・加工用米・輸出用米などはコスト削減次第では、より広範な需要に対応できる可能性があるのではないか。
- ・生産構造と農地保全の観点から、地域的な制度的別・用途別の作付けのあり方をどう考えるか。
- ・飼料用米等の生産拡大、定着にあたっての課題は何か。

以上

<添付資料>

○令和3年5月19日専門部会次第

**令和3年度福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
第1回品種構成・品質向上対策検討専門部会 次第**

日時：令和3年5月19日（水）13：00～
場所：JA福島ビル9階91会議室

1. 開 会

2. 挨 捶

3. 報告事項

（1）水田農業をめぐる情勢について

（2）水稻の品種構成・品質の現状・課題（全国）について

4. 協議事項

（1）福島県における今後の品種構成・品質の現状・課題と今後の対策検討の方向について

（2）令和3年産米における穀物検定協会の食味試験対応について

（3）その他

5. 閉 会

**令和3年度福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
第1回飼料用米・加工用米・輸出用米等拡大対策検討専門部会次第**

日時：令和3年5月19日（水）15.00～
場所：JA福島ビル9階91会議室

1. 開 会

2. 挨 捶

3. 報告事項

（1）水田農業をめぐる情勢について

（2）飼料用米・加工用米・輸出用米等をめぐる情勢について

4. 協議事項

（1）令和3年産米の現状と今後の取り組み方向について

（2）その他

5. 閉 会